

2023年
夏

どうぞ 満 議員活動報告



発行責任者 道祖 満
飯塚市 鯉田2525-44
TEL 25-3280

つくります!
newしいづがライフ

飯塚市議会議員 どうぞ 道祖 満

恋ひ恋ひてあふ夜はこよひ天の川

霧立ちわたり明けずもあらなむ

(よみ人知らず)

皆様お元気ですか。

コロナウイルス感染症も5類に移行し大きく報道はされなくなりましたが、感染される方が、増えているようです。(わたしは、寝冷えからなのか、喉の痛みがしばらく続き耳鼻咽喉科を受診して、薬を頂き暫く服用いたしていましたが、現在は落ち着いていますが、冷房による体調不良には注意をしています。)

さて、飯塚市議会では、改選後の5月8日に、新しく市議会議員に選出された28名の議員が参加した全員協議会が開催されました。

その後、各党派、会派代表者会議等が行われ、5月15日から23日まで、臨時市議会が開催されました。

また、6月定例会市議会が、6月20日から7月6日まで開催されました。

6月定例会では、「子育てに関連して・子ども家庭センターの設置について」「飯塚市公共施設跡地売却について」一般質問を行いました。

また、議員提出議案として「飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

(改正前定数28人を、改正後定数を24人とする。)」を提出致しました。



6月市議会一般質問

改選後、臨時市議会が開催されました。

4月の飯塚市議会議員選挙により新たに選出された28名の議員で、5月15日から23日まで臨時の市議会が開催されました。

この臨時市議会で、わたしは、前回に引き続き、経済建設委員会に所属することになり、所属委員会の構成議員の互選により、副委員長を2年間勤めることになりました。

また、飯塚市・嘉麻市・桂川町・小竹町で構成される「ふくおか県央環境広域施設組合議会の議員」に選出され、広域組合の第一委員会の副委員長に選出されました。

臨時市議会では、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業と低所得子育て世帯生活支援特別給付金事業（児童一人当たり一律5万円を給付・給付対象児童数2,667人を見込む）に要する経費7億2,838万円を補正するための、専決処分の承認「令和5年度飯塚市一般会計補正予算（第1号）」他、専決処分の承認議案2件と、議会選出の監査委員の議会の選任同意議案、報告事項4件が審議されました。

令和5年6月定例市議会が開催されました。

6月20日から7月6日まで、6月定例市議会が開催されました。

令和5年度飯塚市一般会計補正予算（第2号）では、電力・ガス・食料品等の価格高騰対策を中心に補正予算19億2,316万9千円が生まれ、補正後予算を900億7,954万9千円とするものです。

その主なものは、市民生活応援のため、8月に発送を予定している、非課税所帯（想定2万5,000世帯）に、1所帯につき3万円分のクーポン券を発行・課税所帯（想定4万所帯）に、1世帯につき2万円分のクーポン券を発行する予算16億1,671万1千円となっています。

また、企業誘致用適地調査事業費として「筑穂旧日鉄鉱業跡地（約7万6,364坪）」の地盤調査をするため3,159万6千円が計上されています。

条例議案では、

- ◎「新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための作業に従事する飯塚市職員の特殊勤務手当に関する条例を廃止する条例」（人事院規則が改正されたことに伴い条例を廃止するもの）
- ◎「飯塚市税条例の一部を改正する条例（地方税法の改正等に伴い、森林環境税の導入に伴う改正、令和6年1月1日から施行・給与所得者の扶養親族等申告書の簡素化に係る改正、令和7年1月1日から施行・軽自動車税関係、環境性能割について納付すべき額の不足額を徴収する際に加算する割合を10%から35%に引き上げる改正、令和6年1月1日から施行）

◎飯塚市病院事業条例の一部を改正する条例（福岡県知事より飯塚市立病院が地域医療支援病院として承認されたことに伴い、健康保険法の規定により徴収が義務付けられる選定療養に係る利用料金を、非紹介患者初診加算料 1,650 円から 7,000 円・非紹介患者再診加算料設定なしから 3,000 円とするもの、令和 6 年 1 月 1 日から施行）

変更契約の締結では、

◎変更契約の締結・競走場メインスタンド整備工事（物価の変動等による諸経費の増に伴い、原契約金額 25 億 2,670 万円から 9,916 万 7,439 円増額して、契約金額を 26 億 2,586 万 7,439 円とするもの）

財産の取得では、

◎財産の取得・消防ポンプ自動車（飯塚消防団筑穂方面隊第 2 分団に配備するため 2,284 万 7,000 円で消防ポンプ自動車を㈱ナカムラ消防化学から購入するもの）

市道路線の認定

◎寄附採納に伴い 4 路線 181.6m・路線見直しに伴い 1 路線 177m を市道に認定するもの。

専決処分の承認では、

◎専決処分の承認・令和 5 年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第 1 号）令和 4 年度決算（累積赤字）に伴う繰上充用に係る経費 21 億 4,025 万 9 千円を補正し補正後予算を 249 億 4,026 万 4 千円とするもの。（令和 4 年度末の累積赤字残高は、見込で 5 億 7,469 万 7,562 円、令和 12 年度には累積赤字は解消予定）

その他、15 件の報告事項、議員提出議案 7 件が、審議されました。

「議員定数のあり方に関する調査特別委員会」設置

議員提出議案第 7 号「飯塚市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」について協議するため、特別委員会が設置されました。

特別委員会では、全議員で、広く市民の意見を聴き、1 年を目途に市議会議員定数のあり方について協議し、今回提案致しました議員定数を 24 人にするかどうか結論を出すこととなります。

委員長選出においては、色々と協議を行いました。最終的には議員全員で構成される委員会であるので議長が委員長に就任することが望ましいという意見が多数を占め、選挙で、委員長に江口徹議長、副委員長に兼本芳雄副議長が選出されました。

議員定数について皆様はどの様に考えているのか、皆様の意見を飯塚市議会事務局へ送ってください。

議員提出議案第 7 号

「飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例を次のように定める。」

わたしと、佐藤清和議員・田中武春議員の 3 議員連名で、飯塚市議会議員の定数を 28 人から 24 人に改正する条例を提出致しました。

提案理由 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 91 条第 1 項の規定に基づき、飯塚市議会の議員の定数を 24 人と定めるため、本議案を提出するものである。

（飯塚市議会議員の定数を 28 人から 24 人とする。）

今年の 4 月に飯塚市議会議員選挙が行われましたが、福岡県内の政令市を除く人口 8 万人以上の自治体の議員数と、議員一人当たりの人口の状況を比較してみると、飯塚市議会の議員定数は、24 人でも議会運営には差し支えないと考えます。

令和 5 年 5 月末時点の各自治体人口

	人口	議員定数	（女性議員数）	人口/議員定数
久留米市	302,091 人	36 人	（6 人）	8,392 人
春日市	112,496 人	20 人	（6 人）	5,625 人
大牟田市	107,484 人	23 人	（6 人）	4,674 人
筑紫野市	106,492 人	22 人	（5 人）	4,841 人
糸島市	103,729 人	20 人	（3 人）	5,187 人
大野城市	102,706 人	20 人	（6 人）	5,136 人
宗像市	097,063 人	20 人	（3 人）	4,854 人
飯塚市	125,282 人	28 人	（1 人）	4,475 人

議員一人当たりの人口を見てみると、飯塚市が一番少ないことが分かります。

2025 年の飯塚市の将来人口は、市独自の推計では 123,148 人。（2,134 人減少）

市の独自推計値 123,148 人を 28 人で割ると、議員 1 人当たりの人口は、4,399 人

市の独自推計値 123,148 人を 24 人で割ると、議員 1 人当たりの人口は、5,132 人

2025 年の飯塚市の将来人口、九州経済調査協会の推計では 122,211 人。（3,071 人減少）

九経調推計人口では、28 人の議員一人当たりの人口は、4,364 人

24 人の議員一人当たりの人口は、5,092 人となります。

2019 年 6 月市議会で、定数を 28 人から 24 人と議決したものを、市議会議員選挙の実施が翌年と近くなった 2022 年 6 月市議会で、「多様な意見を聞く」との理由で、24 人から 28 人と戻されましたが、議員一人当たりの人口が多い自治体の議員は、多様な意見を聞いていないのでしょうか。

コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻により、食料品・電気料金・日用品等と幅広い分野で値上がりが続いており、さらに、国では増税についても議論され、今後、市民の皆様の負担が一層増える傾向にあり、飯塚市議会も経費削減に取り組むべきだと考えます。

（議員一人当たりの年間経費は、約 974 万円で、議員定数を 28 人から 24 人にとすると、1 年間で約 3,890 万円、4 年間では約 1 億 5,560 万円の削減効果が期待できます。）

なお、本条例案の審議にあたっては、今定例会において即決することなく、議員定数のあり方について、広く市民の意見を聴いたうえで、全議員による協議を行い、1 年後を目途に、結論を出して頂くことを提案致します。

「子育てに関連して」一般質問

「子ども家庭庁」が、今年の 4 月から発足致しましたが、これにより、飯塚市の子育ての取り組みが、どの様になるか、市の取り組みについて一般質問を通じて確認を致しました。

質問 令和 4 年 6 月 15 日に、「児童福祉法」が改正されていますが、この法律の改正の概要はどうなっていますか。

答弁 各市町村に、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもの包括的な相談支援を行う「子ども家庭センター」が設置され、訪問による家事支援、児童の居場所づくり支援、親子関係形成支援などの新たな事業に取り組む方針が示されている。

質問 飯塚市では、「子ども家庭総合支援拠点の設置に伴う子ども・子育て関連の業務体制について」を令和 4 年 4 月に飯塚市福祉部子育て支援課より、令和 4 月 22 日の福祉文教委員会に提出されていますが、これによると、「実情の把握・調査及び指導」「情報の提供・支援」「相談・関係機関との連絡調整」の 6 つの業務を 1 セットにしたものを「子ども家庭総合支援拠点」といいます。とありますが、この「子ども家庭総合支援拠点」については令和 4 年度末までに、各市町村に設置されることが目標とされていましたが、飯塚市ではすでに設置されていると理解していますが、この拠点の、稼働状況はどうなっていますか。

答弁 本市独自の措置として、小児科の医師と弁護士を配置した「子ども家庭総合支援拠点」を設置している。令和 4 年度では、支援や対応について協議をする、拠点会議を 50 回行っている。更に令和 5 年度からは、児童相談所の経験者であるスーパーバイザーにも月 1 度会議に参加してもらい包括的な支援を行っている。また、すぐに対応が求められる虐待通告を受けた際に行う緊急受理会議については 90 回程度行っている。

質問 「子ども家庭センター」は、「子ども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援

センター」の見直しを行い、「子育て世帯訪問支援事業（訪問による生活の支援）」「児童育成支援拠点事業（学校や家以外の居場所支援）」「親子関係形成支援事業（親子関係の構築に向けた支援）」が、新設されています。また、「子育て短期支援」「一時預かり事業」については拡充するとされていますが、どのような業務となるのでしょうか。

答弁 国では、「子ども家庭センター」の組織体制については、令和4年度に調査研究を行い、設置運営に係るガイドラインを作成するとしており、詳細については研究内容を踏まえ示す。としている、国のガイドラインに沿って充実した事業実施に向けて検討を進める。

質問 子ども・子育て関係の支援体制の一段の充実を図るための法整備が進んでいると理解致しますが、現状の人員体制で、この法の求める業務内容に対して対応が出来るのか、人員の確保が必要ではないかと考えますが、市の考えを示して頂きたい。

答弁 子どもたちための施策を進めていくために、効率的な業務展開を図りながら、必要な人員については、しっかりと確保していきたいと考えている。

「飯塚市公共施設跡地売却について」一般質問

飯塚市では、旧潤野小学校・旧鎮西中学校・旧楽市小学校・旧立岩交流センター等の公共施設跡地の売却を実施していますが、一部の物件では予定通りに売却が進んでいない状況です。

その原因は、アスベストが施設建設の際に使用されていて、建物の解体の際に安全に除去する費用が多額になるため売却に至らないようです。

アスベストが使用されている建物については、市での解体を実施して、市民の皆さんに、安全、安心感を与える街づくりに取り組むことを要望致しました。

質問 「旧潤野小学校」の施設・施設跡地の売却を実施していますが、購入希望状況はどの様になっていますか。

答弁 旧潤野小学校の跡地・跡施設の売却については、令和5年2月27日から4月28日まで応募申し込みの受付を、5月31日まで土地利用計画書及び価格調書の受付を行ったが、結果として申し込みは無かった。今後は市で校舎等の建築物は解体を実施する方向で協議している。

質問 4ヶ所の公共施設・施設跡地の各路線価は幾らになっていますか、路線価による各跡地の評価額は幾らになりますか。

答弁 旧潤野小学校の路線価は、1㎡当たり1万2,700円だが、不動産鑑定評価を実施して必要経費等を勘案し、売却価格を1円とした。

庄内川浸水対策進む「調整池拡大整備」へ

平成30年7月6日から7日の大雨で、庄内川流域では床上浸水138戸・床下浸水33戸の被害が発生しました。

市では県と協議して、令和5年度の完成を目指して、浸水被害の軽減を目指して河川拡幅工事等に取り組んでいます。

併せて、市では、県に対して、飯塚市企業局が所有する旧貯水池を無償提供して、この旧貯水池を大雨の際に調整池として活用することを要望していました。

今回、県では、この旧貯水池を活用するとともに周辺の用地（スーパー川食庄内店周辺）を確保し、拡大した調整池の整備に取り組む考えを市に示しました。（この調整池の拡大整備については、市の要望を受けて立憲民主党顧問の吉村敏男元県議が県との交渉を重ね実現に結びつきました。）

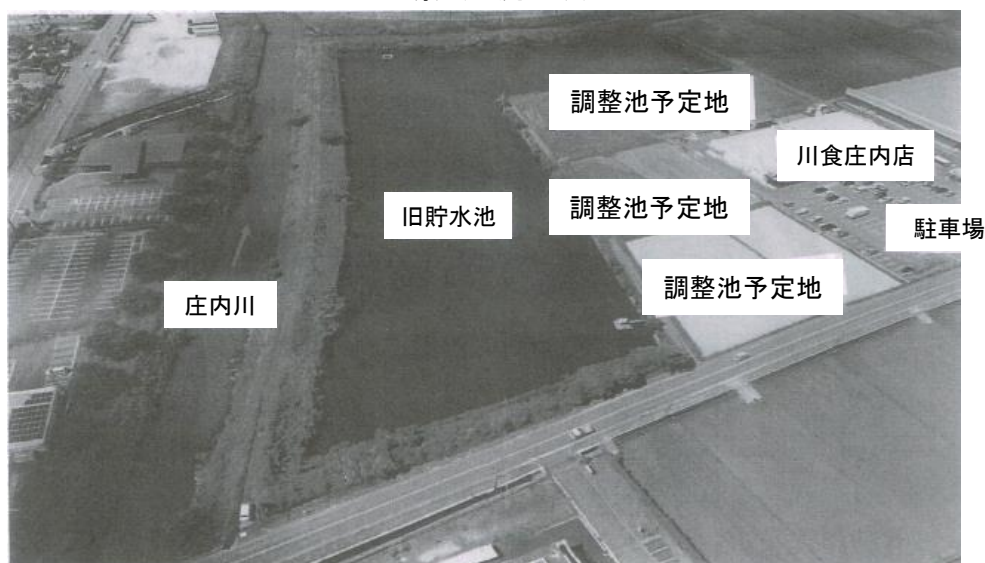
この調整池整備は、大雨の際に庄内川の水位を調整する働きが期待でき、地域住民の生活の安全確保に繋がります。

（旧貯水池の通常貯水量は50,000tで、旧貯水池内ブロック積高までの調整貯水量は11,000t可能なため、合せて約61,000t調整可能となる。）

現況の堤防を1.0m嵩上げするごとに約20,000tの増量が見込まれ、2.0m嵩上げすることで約101,000tの調整量が可能となる。）

県の計画では、この旧貯水池の想定調整量からさらに増量となる計画であります。総調整量については、今後さらに詰めていく事になります。

全景（上流より）



市民公園リニューアルワークショップ開催

飯塚市では、今年の4月より新体育館の運営を開始に合わせて、周辺の公園を市民の皆様が集えるように、草木の伐採等を行いました。

今回、より一層市民の皆様が利用しやすい公園を目指すために、市民の皆様と一緒に歩いて市民公園を歩いて、公園の利用方法、整備方針を考える機会が設けられます。

会場 飯塚市総合体育館（新体育館）多目的室

第1回は、令和5年8月6日（日）15時から（公園内を歩いて回る予定。）

連絡先は、飯塚市都市計画課公園緑地係 電話 0948-22-5500 内線 1551・1552
（新体育館が開設され多くの皆様が利用している姿を拝見しています。）

夜の新体育館周辺は、新体育館の照明はもちろんですが、市民広場で少年サッカー等の利用・テニスコートの利用が、各照明設備で照らされて、大変明るい雰囲気で行われており、以前の暗い市民公園のイメージが、様変わりしています。）

飯塚オートレースファン送迎バスの延伸

飯塚市総合体育館（新体育館）の利用者を送迎するために、飯塚オートレースファンの送迎バスを、新体育館まで、令和5年8月3日（木）から9月29日（金）までの期間延伸することになりました。

運行経路は、次の通りです。

飯塚あいタウン前（乗車のみ）—JR 新飯塚駅（乗車のみ）—飯塚オートレース場（乗降）—新体育館（乗降）—JR 新飯塚駅（降車のみ）—飯塚あいタウン前（降車のみ）

運行時間については、オートレースの開催時間に合わせる形となっています。

市民の皆様への周知については、スポーツ振興課から行うことになっています。

飯塚総合体育館（新体育館）前の 路線バス（西鉄）の停留所設置について

路線バス（西鉄）の新体育館前の停留所の設置については、西鉄と設置の方向で協議中です。

また、路線バスを愛宕団地停留所から、オートレース場まで延伸することについても延伸の方向で西鉄と協議中です。

（なお、JR利用者のJR 浦田駅からの新体育館への案内標識設置についても、設置の方向で取組んでいます。）